

メッセージアウトラインルカ 23:32~43、I コリント 15:12~22

「イエス・キリストの復活」

[ルカ 23:32-43]

「ほかにもふたりの犯罪人が、イエスとともに死刑にされるために、引かれていった。『どくろ』と呼ばれている所に来ると、そこで彼らは、イエスと犯罪人とを十字架につけた。犯罪人のひとは右に、ひとは左に。そのとき、イエスはこう言われた。『父よ。彼らをお赦してください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。』彼らは、くじを引いて、イエスの着物を分けた。民衆はそばに立ってながめていた。指導者たちもあざ笑って言った。『あれは他人を救った。もし、神のキリストで、選ばれた者なら、自分を救ってみろ。』兵士たちもイエスをあざけり、そばに寄って来て、酸いぶどう酒を差し出し、『ユダヤ人の王なら、自分を救え』と言った。『これはユダヤ人の王』と書いた札もイエスの頭上に掲げてあった。十字架にかけられていた犯罪人のひとはイエスに悪口を言い、『あなたはキリストではないか。自分と私たちを救え』と言った。ところが、もうひとりの方が答えて、彼をたしなめて言った。『おまえは神を恐れないのか。おまえも同じ刑罰を受けているではないか。われわれは、自分のしたことの報いを受けているのだからあたりまえだ。だがこの方は、悪いことは何もしなかったのだ。』そして言った。『イエスさま。あなたの御国の位にお着きになるときは、私を思い出してください。』イエスは、彼に言われた。『まことに、あなたに告げます。あなたはきょう、わたしとともにパラダイスにいます』」

「パラダイス」…楽園を意味するペルシャ語に由来し、ここでは神の住まいである天を意味する。→II コリント 12:4、黙示録 2:7

イエスは私たちの罪の贖いのために十字架にかかって死なれた。「贖い」とは代価を払って買い取るという意味。イエスは私たちの罪の刑罰としての死を身代わりとして受けて、永遠の滅びに至る神のさばきを受けることのないようにしてくださった。

しかし、救われるためにはひとつの条件がある。それはこの神の御子イエス・キリストを自分の救い主として信じ受け入れることである。

十字架上の犯罪人のひとは「あなたはキリストではないか。自分と私たちを救え」と言ったが、彼は本当の意味でイエス・キリストを救い主とは認めていなかった。彼はイエスへの信仰を告白しなかった。指導者たちも同様。しかし、もうひとりの犯罪人の男はイエスを救い主と認め、イエスに対する信仰を告白した。→41~42 節。ここが救われるか否かの分かれ目となる。彼はここに至るまで何ら良きわざも行わず、ただ罪に罪を重ね、あげくの果ては死刑の宣告であった。しかし、このような人物でも、信仰を働かせる時、そのイエスに対する信仰によって救われるのである。彼の地上の生涯は十字架上で終わったが、それは決して死と永遠の滅びで終わらず、永遠の天の御国へと続いていくものとなった。

イエスは十字架上で死なれ、葬られた。しかし、このお方を信じる者の救い

が有効となるためにはイエスの死よりの復活が必要である。なぜなら、死は罪の結果として人間に入ってきたものだからである。→創世記 2:15~17,3:19,ローマ 6:23 この「死」とは肉体的死だけでなく霊的死、永遠の滅び、神との永遠の隔絶を意味する。

イエスが葬られて三日目に死を打ち破って復活されたということは、イエスは死より強いお方であり、このイエスを自分の救い主と信じる者もまた、死より復活する希望が与えられているということである。イエスが復活されなかったならば、私たちの信仰は単なる気休めとなる。

イエス・キリストの死よりの復活は福音の根底をなすものである。

このイエスの復活に関連しては→I コリント 15:12~22

コリント教会はパウロの福音伝道によって立てられた教会であるが、そこにはギリシヤ哲学の影響からか「死者の復活はない」と主張する者がいた。

もしもキリストが死よりよみがえらなかつたならばどうなるのか。

[13~14]①私たちの宣べ伝える福音は実質のない単なる気休めということになる。

[15~17]②私たちの信仰はむなしく、私たちは今もなお罪の中にいることになる。
罪から来る報酬は死。→ローマ 6:23

[18]③当然、キリストを信じるクリスチャンも死に勝てない。

キリストにあつて眠った者(死んだ者)は滅んでしまったことになる。

[19]④クリスチャンはすべての人の中で一番哀れな者となる。

[20]しかし、キリストはたしかに眠った者の初穂として死者の中からよみがえられたのである。イエスはかつて言われた。→「だれも、わたしからいのちを取った者はいません。わたしが自分からいのちを捨てるのです。わたしには、それを捨てる権威があり、それをもう一度得る権威があります。わたしはこの命令をわたしの父から受けたのです」ヨハネ 10:18 そしてイエスが眠った者の初穂として死者の中からよみがえられたということは、イエスを信じて死んでいった者たちもまた彼のように死からよみがえるという希望があるということである。

[21~22]死はアダムによって入ってきた。しかし、死よりの復活はキリストによって与えられる。ここに大いなる希望がある。

イースターは私たちの主イエス・キリストの死よりの復活を記念し祝う日です。主イエスは私たちの罪の贖いを十字架の死によって成し遂げ、ご自身が罪の呪いである死を打ち破って復活されたことにより、ご自身が死より強いお方であり、真の救い主であることを弟子たちに示されました。私たちもこの日を心から感謝し、祝う者となりましょう。